

定例記者懇談会・記者会見＜事前配布資料＞

三重県総合博物館第31回企画展「集まれ！三重のクジラとイルカたち」の開催 － 三重大学大学院生物資源学研究科と工学研究科が展示や講演会などで特別協力－

【概要】

令和4年7月2日（土）から9月11日（日）まで、三重県総合博物館（MieMu）において、第31回企画展「集まれ！三重のクジラとイルカたち」が開催されます。三重大学大学院生物資源学研究科はこの企画展に鯨類の収集資料の貸し出しと研究成果の情報提供および3回の講演会の講師などに、また同大学院工学研究科は鯨船に関する展示資料の製作に博学連携事業として協力します。

【企画展の内容】

内湾として日本一の広さを誇る伊勢湾や太平洋（熊野灘）に面し、長い海岸線を有する三重県は、古くから人と海との関りの深い地です。そのような三重の海には20種以上のさまざまなクジラやイルカが生息し、また回遊してきます。生きものとしてのクジラやイルカはもちろんのこと、古くからの漁や祭りなど、三重のクジラとイルカについて、まるごと学べる企画展です。三重大学大学院生物資源学研究科が収集したスナメリをはじめとするコマッコウやユメゴンドウなど24種のクジラやイルカの骨格や、伊勢湾のスナメリや熊野灘の鯨類などの生態動画や写真を研究成果とともに展示します。期間中は講演会やワークショップなどの関連イベントも開催します。

【協力の内容】

三重大学大学院生物資源学研究科附属鯨類研究センターの吉岡 基教授らの研究グループが集めた鯨類の骨格標本や胃内容物の液浸標本、生態写真および研究成果を展示で紹介します。

三重大学大学院工学研究科の大井隆弘助教が作成した四日市市の鯨船行事で使用する鯨船の図面を展示する予定です。



＜本件に関するお問合せ＞

三重大学生物資源学部 吉岡基

TEL: 059-231-9526

E-mail: motoi@bio.mie-u.ac.jp